

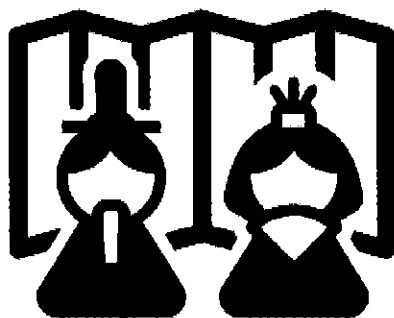
## いよいよ“去る月”

3月1日といえば、やはり公立高校の卒業証書授与式。私が高校を卒業したのは42年前。そのときもやはり3月1日でした。当時、抱いた疑問「何で2月はほとんど学校に行かないのに、卒業式は3月1日なんだろうか?」と思い、「もしかして、3月の授業料が関係しているのかも!」と勝手に解釈していました。(その真偽ははっきりしていません。あくまで推測です。)

いずれにしても3月(=去る月)、いよいよ別れの時が目前にせまってきました。卒業証書授与式まで今日を含めてあと15日。登校するのは僅か11日です。この間に公立高校の後期選抜(8日、9日)があり、終わり次第、卒業証書授与式の練習等を行います。本当に“あつという間“に卒業を迎えることとなります。この時期、『終わり良ければ全て良し』とか『立つ鳥、後を濁さず』とか『有終の美を飾る』といった言葉が引用されます。中学校の卒業は、義務教育終了のときでもあります。これから、それぞれが、それぞれの道を、自分の足で、自分の力で切り開いていかなければなりません。その意味で、人生の最初の分岐点でもあります。その第一歩を確実に踏み出せるよう、まずは、卒業と義務教育終了を念頭に置き、『終わり良ければ全て良し』、『立つ鳥、後を濁さず』、『有終の美を飾る』といった言葉を意識しながら、残り僅かな中学校生活を満喫してほしいと願っています。



## 明後日は「桃の節句」



3月3日は“雛祭り”、別名“桃の節句”と言われます。皆さんのご自宅にも“雛人形”が飾られているでしょうか。さて、この“桃の節句”は、本来は老若男女問わず、春を喜ぶ日だったのですが、武家時代になって、5月5日が男の子の節句であることの対として、3月3日が女の子の節句として浸透していったそうです。

この“桃の節句”で雛人形の脇に飾られた“桃”を見るたびに、いつも「“桃”と“梅”の違いは何?」「どうしたら見分けられる??」と思っていましたので、調べて見ました。

「桃」の花びらは、先が少しとがっているのが特徴です。梅の花が一つずつ咲くのに対し、「桃」は同じ場所から二つずつ花芽が出るので、梅と比べて華やかなイメージです。花は梅と同じく、枝から直接咲きます。花と葉が同時に出るので、花が咲いているときに葉が出ていれば、たいていは「桃」です。

ちなみにこの時期、一番早く咲くのが“梅”次が“桃”、そして“桜”の順です。ですが、私の家の梅は開花が遅く、やっと先日、花が咲き始めました。いずれの花も、満開になると非常に綺麗です。明後日は“桃の花”をめ度ながら、桃カステラを堪能してみたいかがでしょうか。